

144

國 保	I. 62	保期	20	永
		機發付迄	完結迄	永

官並月

全山

租界
年九月
日發布

發付後起
案者捺印

主務局、部
取扱者捺印

起案詳紙(甲)

9

（主務）
軍需局長

第一課長

副官

大臣

次官

書記官

監正水部長

第二部 廢

機務郵變

第二課

經理局長

第一課長

第一課

軍務局長

訓令案

昭和九年九月十一日

海軍大臣

橫鎮長官宛

麻林谷田倉兵備下附，休訓令

官房第 二九七 號

局、部、官房、軍務、人事、教育、軍需、醫務、經理、建築、法務、航空、艦政、軍令

經理局
6.9.16
受接

大正官房
21
受

642

横須賀海軍軍需部保管ノ左記各品ノ發見
 分、上、神、法、要、用、ト、シ、テ、
 久馬ニ兵備下附方取針ノベシ、但シ本件ニ要スル荷造
 費、運搬費ハ先方ノ負担ト心得ベシ

記

シーメンス式
 七十五瓩探照燈

附品共

一基 (番号造一五)

(終)

二〇一〇年九月一日

昭和六年九月貳拾一日發布

昭和六年九月一日

省副官

彩帆支那軍人分會長

伊藤久馬宛

舊軍艦香取記念品下附件通知

七月十八日付出願ノ本件ハ横須賀海軍軍需部保

管ノ其記品ヲ無償下附ノトシ餘議相成リ其ノ旨
横須賀鎮守府司令長官ニ訓令セラレ候條現
由ハ直接前記軍需部ニ照會受領相成度但シ
本件ニ要スル荷造費運搬費ハ由具方ノ負担ト申
了知相成度

記

シメシエツケルト式
七十五股標照燈

附屬品ナリ

一基

(終)

重

頁

提案資料(乙)

九月

經理局

軍需局

司令官

參謀長

副官

官房受

重

6.7.2
30.7

昭和六年七月十八日

彩帆左卿軍人分會長 伊藤久馬

第一課長

彩帆神社世話人總代 田辺美郎

海軍大臣 芳澤安保清種殿

舊軍艦香取記念品下附願件

一 シー・エス・エス 式七五機銃照燈 一基 (横須賀海軍工廠 常備品)

右者来々十一月大祭ヲ施行ス可キ新築

彩帆神社(モト香取神社)ノ拝殿前ニ

安置シ永ク舊軍艦香取ノ本島占

領ノ意義ヲ明ラカニシ記念ト致度ニ

川俣 永 慶島
解 作 ハ 舞
宗 施 ヲ レ 有
若 ハ 乃 乃 乃
舞 舞 舞 舞 舞
當 ノ ト ト レ リ

致度	島占	殿前	手新築	横須賀海軍 需部生庫品	件	太郎
----	----	----	-----	----------------	---	----

6540

川平永慶島寺取
 解作ハ舞鶴ニ於テ
 実施セシ首級共
 署ハ老翁等ハ無之候
 舞姫ヨリ係執ノ如ク
 留ノストレアリ

付御下附相成度此段及御願矣也

追う本品下附御認許、上ハ来ハ八月二十日
横濱出帆、山城丸ニ搭載輸送、コトニ
御船會社ニ交渉済ニ付可然御手配ニ得度

外 號

海 軍

副官

軍務局

第一課長

昭和六年六月十五日

海軍省到官

佐長係鎮守府制官家

昭和六年六月十五日發布

南洋聯盟條約會社責任

伊豆大島

(南洋ガパン島)

ガラパン

舊軍艦看取記念品下附通知

佐鎮第三十六聯移轉、田藤本馬氏、申出、中件ハ左

記品無償下附、善文、無文、見込、海軍大臣宛、移轉

提出、手帳、御通知、成度

記

一、シシスツルト、式七五、種、種、照、燈

一、其、(廣、須、知、軍、務、局、主、事)

昭和六年六月十五日發布

昭和六年六月十五日發布

(17)

高木

小林

横道中葉十三行野統

軍需局

副官

佐世保領守府副官

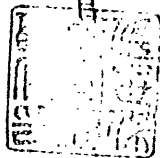
昭和六年六月九日

第一課長

海軍省副官殿



佐世保領守府副官



官房受



六月廿日

海軍



舊軍艦香取記念品下附ニ關スル件移牒
首題ニ關シ在南洋サイパン島伊藤久馬氏ヨリ舊知ノ關係ヲ以テ本府山
梨司令長官宛別紙寫ノ通申出有之候處本件ハ本府限り處理スヘキ事項
ニ無之ニ付便宜移牒致候條可然御取計ヲ得度

(別紙寫添)

(終)

紙用箋附

昭和六年

小島

山梨司令長官宛
別紙寫
通申出有之候處
本件ハ本府限り
處理スヘキ事項
ニ無之ニ付便宜
移牒致候條可然
御取計ヲ得度

三

ヲ以テ本府山
理スヘキ事項

(終)



0763

昭和多年々月々日

小島 龍身

十

海軍省軍需局

以テ本府山
スヘキ事項

紙用箋附

昭和六年六月十四日

海軍艦政本部第二部

本府返還納付
方算存置
取付拍紙度
付大臣先納上提出方

取付拍紙度

0764



海軍

拜啓 願れは三十餘年の昔閣下八島のケビテンガーム時代小生候補生として御指導に預りし以來御面謁の機會もなく打過居候處益御清安爲國家御盡碎の段奉大賀機降而小生去る昭和三年南洋興發株式會社々長は中學の同窓生たる關係より氏の依囑により勞働爭議方面に盡力いたすことに相成り同年一月渡島爾^今當方面の發展著しく目下當サイパン島移住内地人は一万を突破し電燈電話常設館の設備も出來此頃は二十餘台の自動車市中を來往いたしたる次第内地との郵船會社の便船も平均二週間に一回位交通あり殆ど内地同様の有様に候

御承知の通り本島は軍艦香取によつて占領せられ今日に至れる關係上市街の東南景勝の地に香取神社を祭り當八景の一に數へられたりしが今回官民有志の寄附を仰ぎ立派な拜殿を新築し來る十月十七日の祭日を卜し盛大なる祭典を施行する豫定に付此際出來得れば香取占領當時全艦に裝備せる探照燈筒か或は小口徑の砲身等の御下附を

海 軍

請ひ拜殿の正面に飾り萬代の後迄香取占領の意味を明かにする記念
と致度一同の願望に付悉縮の至に候へ共御下附方其筋へ御協議御願
申度何れ御承認の上は改めて願書提出可致に付右御盡力の程偏に願
上候
敬 具

昭和六年五月二十七日

伊 藤 久 馬

山梨司令長官 閣下

2920

永日取装備を照燈

シーメンエツェント式

九〇種 照燈一灯

七五種

夏子

六九二一
六九二二
六九五九
六九五〇

造五・一五

全

舞臺座

